

**令和2年度
アレルギー疾患
都道府県拠点病院モデル事業
活動中間報告**

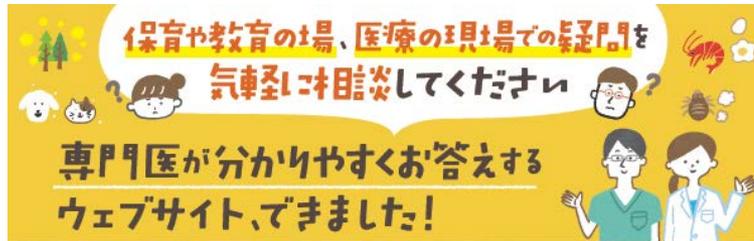
熊本大学病院

緒方美佳 中村公俊 井上俊洋 折田頼尚
坂上拓郎 福島聡 谷原秀信



①アレルギー疾患患者や家族に対する相談対応

医療従事者・教育関係者を対象とした
メールによる相談システムを構築した



「医療従事者・教育関係者向け」のページがあります。少しでも気になることがあれば、お問い合わせフォームに記入・送信してください。同ページのQ&Aで回答しますので、多くの皆さんが正しい情報を共有できます。

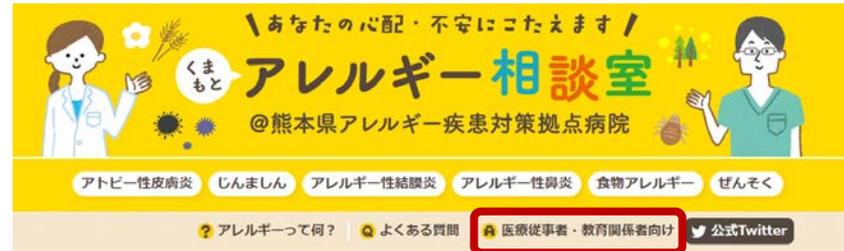


熊本県アレルギー疾患対策拠点病院は、
熊本大学病院・国立熊本医療センター・
熊本地域医療センターが連携して
担っています。

公式Twitterも随時更新中！詳しくはホームページのリンクから！



<https://www.kumallergy.jp/>



医療従事者・教育関係者向け

こちらのページでは、医療関係者（医師、薬剤師、看護師、保健師等）および教育関係者（学校教諭、幼稚園教諭、保育士、栄養士等）を対象に、アレルギー対策関連のご質問を募りQ&Aにまとめた情報を提供致します。掲載する情報は、一般の方に対する情報提供を目的としたものではないことをご了承ください。

※頂きましたご質問は精査の上、回答させていただきます。
頂いたご質問全てを掲載出来ない可能性がございますことご了承下さい。

Q Q&A

アレルギーに関して頂いたご質問をQ&A形式でまとめています。

準備中

お問い合わせ

アレルギーに関するご相談等ございましたらこちらよりお気軽にお問い合わせください。頂いたご質問はQ&Aにてご回答差し上げます。

CLICK

②地域の医師に対するアレルギー疾患研修会の実施

1. 熊本アレルギー症例検討会

- 呼吸器内科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科
- テーマは、日常診療にて遭遇する「よくある症例」
- 3か月ごとの開催
- 会員登録数：127名

日時	テーマ	内容	参加数
7/30	小児の食物アレルギー	1. ナッツアレルギー 2. 乳児の鶏卵アレルギー	48名
10/29	小麦アレルギー	1. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 2. 加水分解コムギによる小麦アレルギー	85名
1/28 (予定)	他科との連携	「他科の先生に聞きたい、アレルギーのアレコレ」 (メールにて質問を募集中)	—

2. その他

日時	テーマ	内容	参加数
1/14 (予定)	呼吸器内科のアレルギー診療	1. 気管支喘息診療・舌下免疫療法 2. 日常診療におけるアレルギー診療Q&A	—

第1回 熊本アレルギー症例検討会のご案内

2020年7月30日(木)19時～オンラインで開催

平素よりアレルギー疾患の診療とアレルギー疾患医療連携協議会へのご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

ご存じのとおり、日本国民の2人に1人が何らかのアレルギー疾患を患っているとされており、たとえアレルギー専門医、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎を患い、花粉症の患者さんの中には食物や卵白のアレルギーを合併する症例が少なくありません。さらにアトピー性皮膚炎の乳児のほとんどが卵白への感作を有するなど、私どもアレルギー診療に関わる医師は、全般的に、多臓器の理解が不可欠とされております。

ところで、2016年に「アレルギー疾患対策基本法」が公布され、「アレルギー疾患を有する者が、その居住する地域にかかわらず等しく科学的知見に基づく適切なアレルギー疾患医療を受けることができ、国民がアレルギー疾患に關し、適切な情報を入手することができる」という基本理念のもと、医療体制の整備が進められています。

熊本県では、熊本大学病院が熊本県アレルギー疾患拠点病院に指定され、関連施設とともに、全県を縦にわたるアレルギー診療の連携体制の構築に取り組んでいるところであります。

この度、熊本県アレルギー疾患医療連携協議会の活動の一環として、アレルギー診療の向上のためにwebによる症例検討会を企画しました。今回のテーマは下記の通りです。

症例① 7歳ナッツアレルギー：天草地域医療センター

症例② 6か月 卵アレルギー（アトピー性皮膚炎合併）：水俣市立総合医療センター

<症例提示（各30分）後、各症例についてレクチャーと意見交換の時間を設けております>

先生方が日常診療で遭遇する、ちょっと気になる症例、何科に相談したらいいかわかりのケースなどを取り上げて、様々な視点で検討できる場の実現を目指しています。熊本ならではの「顔の見える関係性」を生かして、各科の先生方と連携させていただく機会となることを期待しております。

Webでするので、遠方の先生も、子育て中の女性医師の方も、自宅から、またはスマートフォンからも参加可能です。

参加の詳細はこちらから：<https://www.kumamoto-u.ac.jp/kyokai/kyokai.html>、ご確認ください。

のぞいていただいても大歓迎です。みなさまのご参加をお待ちしております。
熊本県アレルギー疾患医療連携協議会 会長 中村公俊
(熊本大学大学院生命科学研究部 小児科学講座 教授)

③アレルギー疾患に対する情報提供

1. 熊本アレルギー疾患連絡協議会メーリングリストの作成

- 会員数 18名（その他管理者1名、非登録者1名）
- 症例検討会、会議等のお知らせに利用

2. 公式twitter

- 災害時の通信手段としてメーリングリストとリンクし、情報収集・周知に利用予定



3. 研修会への講師派遣

日時	テーマ	内容	参加数
11/25	小児の食物アレルギー	阿蘇市 食物アレルギー児の給食対応	24名
12/4	小児の食物アレルギー	県保育協議会主催 研修会 食物アレルギー	166名
2/15 (予定)	小児の食物アレルギー	熊本市内 保育園合同研修 食物アレルギー児対応	—
2/27 (予定)	小児の食物アレルギー	県栄養士会主催 研修会 食物アレルギー	—

④ アレルギー疾患に係る診断等支援

1. 地方中核病院へのアレルギー診療支援

- iPadを配布し、webにて拠点（連携）病院の専門医が、地方中核病院に勤務する医師の診療を支援している。
 - ✓ 診療相談
 - ✓ 地域の医師を通じて、患者と専門医を結ぶことも（皮膚症状について）

診療科	支援中の病院	相談数	相談内容
呼吸器内科	阿蘇医療センター 天草中央総合病院 人吉医療センター 水俣市立総合医療センター 公立玉名中央病院 熊本地域医療センター	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACOコントロールについて使用薬剤や形態等の相談 ・ 難治性喘息に対する治療方針
皮膚科	公立玉名中央病院 熊本総合病院 大牟田天領病院	-	
耳鼻科	熊本総合病院 熊本労災病院	-	
眼科	水俣市立総合医療センター 人吉医療センター	-	
小児科	水俣総合医療センター 天草地域医療センター	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ アトピー性皮膚炎の治療 ・ 経口負荷試験の相談（負荷量、適応、検査時期） ・ 特異的IgEが利用できない食物抗原の診断について

2. 女性医師を対象としたアレルギー診療の啓発 ＜食物アレルギー入門講座＞

- 少人数でのディスカッション形式による症例を通じた勉強会
- 食物アレルギー診療ガイドライン（日本小児アレルギー学会）を配布、教材として利用。
- zoomを用い、自宅からの参加も可能とした。
 - ✓ 診断（1/20予定）、検査（2月）、フォロー（3月）
 - ✓ 実臨床での疑問点も収集
 - ✓ 8名（小児科、皮膚科）が応募

